

木材ジャーナル名古屋・せぶ

令和4年12月号 No.187

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

第56回全国木材産業振興大会開催

令和4年10月27日(木)(一社)全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会の主催により、福島県木材協同組合連合会が大会担当として、福島県 磐梯熱海温泉 ホテル華の湯において来賓、会員等約250余名の出席を得て開催された。

大会第1部大会議事において菅野康則全木連会長の挨拶の後、来賓の祝辞があり、大会宣言決議(下記)が発表され、満場一致で決議された。

引き続き第2部では記念講演として、福島県酒造組合 特別顧問 福島県日本酒アドバイザー 鈴木賢二氏による「ふくしまの日本酒全国新酒鑑評会 金賞受賞数9回連続日本一の軌跡」の演題で講演会が行われた。

その後第3部では、表彰式が行われ、本県からは鈴木和雄前全木連会長に特別感謝状が贈呈され、稲田恭子名古屋木材組合広報委員会副委員長を始め6名が受賞された。(下記受賞者名簿のとおり)その後、多数のご来賓のご出席の下、懇親会が盛況に開催された。



記

1. 大会受賞者(本県分)

全木連会長特別感謝状	鈴木和雄	前全国木材組合連合会会長
全木連会長賞	都築俊夫	岡崎木材組合監事
	櫻井雅規	名古屋木材組合理事
	島山義英	名古屋木材組合理事
	稲田恭子	名古屋木材組合広報委員会副委員長
全木協連会長賞	梅村明男	名古屋国有林材協同組合理事
	木全勝蔵	愛知県木材買方協同組合監事

2. 大会宣言

1. 都市(まち)の木造化等木材利用を積極的に働きかけるとともに、国民理解の醸成に取り組む。
2. 森林資源の循環利用を実現するため、山元への利益の還元と再生林できる体制の構築に森林・林業、建設業界と一体となって取り組む。
3. 木材産業振興のため、予算の確保、税制特例措置の継続に取り組む。
4. 新たな木材需要を創出するため、技術開発・普及等に取り組む。
5. 合法伐採木材やJAS製品等、品質・性能の確かな木材供給や人材の育成確保に取り組む。
6. 木材産業従事者の労働安全確保に全力を挙げ、死亡災害絶滅に取り組む。

令和4年度「木の目」名古屋市への要望活動実施

10月14日(金)に行なった「木の目」(10月8日)の県庁、県議会への要望活動に続いて、11月10日(木)名古屋市役所に、愛知県木材利用推進協議会(西垣洋一会長)構成団体の各代表等14名が参加して、木材利用推進に関する要望活動を行いました。

要望項目〔市〕

- 1 市が整備される公共施設、公共工事等における愛知県産木材を始めとする木材の積極的な利用の推進(具体的には、八事斎場の各施設における木造化・木質化の推進)
- 2 アジア大会跡地整備における木造施設・木製品の採用
- 3 森林環境譲与税を活用した木材利用の推進
- 4 民間における非住宅施設の木造・木質化の推進
- 5 木育の推進と、学童保育所等の木造・木質化の推進



(名古屋市 河村市長)



(名古屋市 関係部局)

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

みちしるべ

2050年カーボンニュートラル実現に向けたGXの推進
木材業界が果たすべき使命とは!!

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

長年、世界規模の課題として挙げられている地球温暖化。二酸化炭素・メタンといった温室効果ガスの排出は、地球温暖化を加速させ、気候変動や自然災害、健康被害など様々な面で我々に影響を及ぼしています。IPCC第6次評価報告書によると、今後も温室効果ガスの濃度が上がっていくと、今世紀末までに地球の温度は3.3~5.7℃上昇すると見解を示し、エジプトで開幕したCOP27において温暖化対策の強化議論を実施、2030年までの対策を強化する作業プログラムの採択を目指すなど環境問題に対する危機は深刻さを増しています。

又、カナダ西部内陸産SPF製材大手キャンフォアのレポートによれば、アラスカ北極圏のツンドラ地帯で本来生育しているべきものではないホワイトスプルースが確認され、驚異的なスピードで北上へ拡大していることを観測。この「北極圏の緑化」と呼ばれる現象は気候変動が加速していることの表れであり、世界に深刻な影響を及ぼす可能性があることを示唆しています（右参照）。



アラスカ北上を続けるホワイトスプルースの木々（北極圏の緑化）
『キャンフォア・レポート 2022年10月号』より

このような状況下、各国が地球温暖化への危機感を示している中、日本も経済社会システム全体の変革を目指して、2050年カーボンニュートラル実現に向けたGX（グリーントランスフォーメーション）の推進を図っています。GXとは、地球温暖化など環境問題を引き起こす温室効果ガスの排出をなくすため、化石燃料からクリーンエネルギーや脱炭素ガスに転換して、経済社会システム全体の変革を目指す取り組みのことです。2022年6月には岸田内閣が閣議決定した「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」では、このGXを重点投資分野の一つに位置付けています。つまり、政府はカーボンニュートラル・地球温暖化対策計画を実現するためには、企業およびステークホルダーの協力が必要不可欠であると考え、企業のビジネスモデルや戦略を変革し、環境を保全して経済の回転を良くする、経済を活性化して環境を改善していくという、経済と環境の好循環を目指すことを方針として掲げています。

木材業界においてもその役割は大きく、再生可能な資源である木材の利用拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化の防止、地域経済の活性化（地域創生）を通じ、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現に広く貢献するものです。私達はそのことを自覚し、誇りと責任を持って未来に向け、川上から川下の全ての業界団体の協力体制を構築し、「伐って、使って、植えて、育てる」という循環型社会の形成を推し進めていかなければなりません。そしてそれが将来の世代へとつなぐ我々業界の果たすべき使命だといえます。

◆ 合縁木縁 ◆

「『人』と『出会い』」

「一期一会」を大切に。

そんな在り来りの言葉を、私は人生のターニングポイントで父から贈られました。その当時「一期一会」の意味は分かっていたものの、それが何なのかわからなかった私には実際のところ、理解できていなかったのではないのでしょうか。むしろ未だに理解できていないのかもしれない。

一期一会とは「一生に一度だけの機会、生涯に一度限りであることを考えて、そのことに専念する意。」(新明解四字熟語辞典より一部引用)であり、若かった私が未熟ながら解釈していた「人との出会いを大切に」とは少し違った意味をなしていた事に、恥かしながら約20年を経て気付かされました。

しかしながら、私が解釈していた「人との出会いを大切に」という意味合いも決して間違っているものではないと自負している事もあります。「一度きりの人生、出会う方々とのご縁を大切にしていこう」と、そんな勝手な解釈をしながら人生を歩んで参りました。私自身、幸運にも人にとっても恵まれていると思う事が多く、こちらには書き尽くすことのできない程で、「貧乏学生をしていたあの頃…」「異国の地で寂しさを感じていたあの頃…」「羽目を外しすぎて危ない目に…」今となっては懐かしい思い出ではありますが。そんな思い出の中に、必ずと言っていいほど、その時代の「人」との「出会い」があり、その「出会い」に救われていた私自身がいます。

そんな私も今では会社の代表となり、手探りながらも日々を過ごしております。その日々に、やはり「人」との「出会い」があり、縁あって出会った異業種経営者の方々や友人、そして何より自社スタッフがおり、そんな彼らに日々助けられながら、そして信頼を置き業務をこなしております。私自身が若かりし頃、在り来りと思っていた言葉が、今となれば自分の大切にしたい言葉となり、幸運となり、そんな幸運を私はこれからも大切に、「人」との「出会い」に向けて私自身も「いい出会い」と言って頂けるよう過ごして参りたいと思います。

今回は、ナイス株式会社 中部ブロック小牧営業所 川上 直也氏にお願いします。

木場すずめ

『 マリンバの音色 』

3年程前のある日、私に1通のメールが届きました。その内容は「弊社で取り扱っている木材でマリンバを製作したいので、何種類か木材を紹介して欲しい」というものでした。

詳細を聞いたところ、丸美産業(株)が2020年3月に創業100周年を迎える記念企画の「マリンバプロジェクト」という内容で、弊社に関連のある建築材でマリンバを製作して100周年式典でプロマリンバ奏者 中田麦氏が演奏するという企画でした。

当初、企画の趣旨は理解できましたが、とても実現できるとは思いませんでした。とは言え興味本位も手伝い、国産の杉、カナダのSPF、中国のナラ、東南アジアのセラングンバツ、南米のイペの5種類をサンプルとして提出しました。実際にマリンバの音板に使用されている木材は、密度、強度、硬度から最も響きが良いローズウッドが主流の為、杉とSPFは論外で、ナラとセラングンバツとイペは何か音が出るのかな?でも無理だろうくらいに思っていました。マリンバ製作会社や木琴調律師 吉村輝美氏に材質を研究してもらい「イペなら何とかなるかもしれない」との結果を知り、前回よりも多くのサンプルを提出し鍵盤の試作が始まりました。試行錯誤の結果「ウッドデッキ用木材のイペで製作しよう」との連絡が届きました。さっそくマリンバ一台分の材料を用意して製作会社に納入し完成を待っていたところ、再度追加で材料を送って欲しいという連絡が来ました。訳が分からず詳細を確認すると、鍵盤を10本作って合格が3本しか出ないため、納入した材料が不足してマリンバ一台分の鍵盤が作れないとのことでした。

そして、マリンバ製作会社と木琴調律師やプロ奏者の方々の知恵と技術の集結の結果、世界に一台だけのマリンバが完成しました。残念ながらコロナウイルス感染症流行のため100周年記念式典は中止になってしまいましたが、丸美産業(株)のホームページでマリンバの音色を聴くことができます。ご興味のある方は是非弊社ホームページをご覧ください。

竹あかり Tobishima Lights 2022 開催中



令和4年11月4日(金)Tobishima Lights 点灯式が行われました。

飛島村民や立地企業の従業員の皆様にとって、さらに誇りを感じていただける村となることを目指し、2020年から開催され今年で3回目の実施となりました。名古屋港木材産業協同組合、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会から多くのご支援をいただき、徐々に認知度も上がり来場者は、初年度2020年の3,529人から昨年度2021年は7,087人と倍増し地域に定着した事業となっています。

点灯式で飛島村の加藤村長は「新型コロナの影響で物価高騰が続く、ストレスの多い日常の中是非この竹あかりのイルミネーションを見て、心に温かく優しい灯をともしてもらい、少しでも癒しになればと思い、飛島村職員が力を合わせ製作しました。」と心温まる挨拶をされました。

とても幻想的で風情のある竹あかりを是非ご覧ください。



点灯時期：2022.11/4(金)～2022.12/25(日)

点灯時間：17:00～21:00

会場：飛島村役場 庁舎北側 中庭

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

幹線道路沿いの店舗を狙った侵入盗被害が多発!

当署管内では、幹線道路沿いの店舗や事務所を狙った侵入盗被害が多発しており、一夜にして複数の店舗等が被害に遭う状況が続いています。

被害は、深夜から未明にかけて集中し、侵入手口は、裏口ドアのこじ開けが多く見られます。金庫やレジカウンターの現金が盗まれないために、特に年末に向かうこれからの時期は、管理者が長期不在になることから・管理者不在時には店舗内に現金を保管しない・ホームセキュリティの導入・搬出が困難な防盜金庫の活用等の対策をお願いします。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

令和5年新年名刺交換会 中止のお知らせ

予定しておりました、令和5年の新年名刺交換会につきまして、準備を進めてまいりましたが、感染者数が増加傾向にあることから、皆様の安心・安全を最優先に考慮し、やむなく中止とさせていただきます。

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

より美しく健康な住まいづくり

省令準耐火適合商品

CORNER BOARD
コーナーボード

さかやか
せうこうボード FCボード

チヨダウーテ株式会社

中部支店
TEL059-365-5211 FAX059-364-5219

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会